

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese I		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1-514		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
中国語の発音の習得を目標とします。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
身につく中国語コミュニケーション入門編 范建明著（生協で買ってください。）

【授業内容とその進め方】
<p>1)授業内容：</p> <p>a中国語の発音の勉強：子音 21個；母音 36個；声調 4種類</p> <p>b人称代名詞・指示代名詞・判断動詞「是」・年月日の言い方・形容詞などの勉強</p> <p>2)進め方：予習復習を前提に、1回の授業で1課のペースでやっていきます。毎回小テストをやります。そ</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

の内容と範囲は予め指定します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

期末試験および小テスト・宿題の結果を、次のように総合評価します。

成績評価 小テスト・宿題 50%

期末試験 50%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とします。

試験成績が60点に達すること。

但し、成績は中国語第一と中国語第二を総合して2月に出します。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けませんが、火曜日午後の2時半から4時間までの間が望ましいです。

【学生へのメッセージ】

中国語を学ぶのは中国語脳をつくることです。中国語脳ができたときは中国語を自由に使える日です。問題は作り方です。私の方法はトレーニングです。中国語の発音も、基本語彙も、基礎文法も繰り返しの訓練によって中国語脳をすこしずつ作り上げます。ですから、授業は発音練習・朗読・暗記、普段は予習復習を重視します。

【その他】

無断欠席、遅刻しないように！